

「空の鳥、野の花」通信



菅原早樹・活動レポート No.02 2011年12月

ついこの間、「空の鳥、野の花」通信の第一号をお送りしたと思いましたが、あっという間にもう12月になってしまいました。

今年もあと1ヶ月。そして私達クリスチャンにとってはとても嬉しい、恵みのクリスマスの季節です。

いつも尊いお祈りを、心より感謝申し上げます。

お陰様で、11月は、神様の守りと祝福のうちに終えることができました。

ひとつひとつのコンサートで、わたし自身がたくさんの祝福を頂き、神様の愛について深く教えられていますことを何より喜び、感謝しています。

ただ一つだけ、驚くべきアクシデントがありました。

と言っても当事者はわたしではないのですが。

アクシデントにあったのは、実は姉（福音落語家・露のききょう）で、姉は、11月19日に、なんと東京で足を骨折してしまったのです。

姉は19日に、救急で処置を受け、20日には私が新幹線で東京に駆け付け、また東京の叔父や友人の助けも得て、帰阪。翌日、即入院となりました。

姉の骨折は当初思ったよりもひどく、手術も必要で、動けるようになるまでにはかなりの日数がかかるため、やむなく、年内のご奉仕をすべてお断りしなければならなくなっていました。

しかしながら、姉も私たち家族も、予定をキャンセルさせていただいた教会や集会の皆様には申し訳ないと思いつつも、このことも主の御手の内に起こったことと受け止め、平安に過ごしています。

姉が何えなくなった幾つかの集会は、私が行かせていただくことになり、早速11月27日（日）には、**大津福音自由教会**の「かみがた寄席」で落語の代わりに「トーク&コンサート」をさせて頂きました。

突然の出演者の変更も、教会の皆さまは信仰をもって受け止めて下さったことを心より感謝しています。



さて、12月の予定ですが、今年はたくさんのクリスマスコンサートの御依頼を頂き、驚き、感謝しています。

初めての経験に戸惑いながらも、心を尽くし、思いを尽くして、イエス様のご降誕を賛美させていただきたいと願っています。

12月の予定は以下の通りです。

●1日（木）姫路福音ルーテル教会「シャロンの会・クリスマスの集い」

●3日（土）高松市民クリスマス
《姉の代演で「証しと賛美」、豊来家大治朗さんと》アルファあなぶきホール（小ホール）

●7日（水）多聞福音教会「クリスマスコンサート」

●9日（金）リック羽曳野「ワンダフルクリスマス—露の五郎兵衛ファミリーによる落語と讃美」

●11日（日）高石聖書教会「クリスマスコンサート」アブラホール（小ホール）

●17日（土）京都市東部文化会館「クリスマス・チャリティー・ハーブコンサート」ゲスト出演

●18日（日）エム・ビー大阪バイブルチャーチ「クリスマスコンサート」

●23日（金・祝）午前・みとキリスト教会「クリスマス寄席」《姉の代演で「ミニコンサート」母の証し》

●23日（金・祝）夜・姫路バプテスト教会「クリスマスコンサート」

●25日（日）洛西ニュータウン福音キリスト教会礼拝「特別賛美とメッセージ」



サロン・ドゥ・アヴェンヌにて

一つ一つの集会において、イエス様のご栄光を表すことができますよう、また賛美を通して、聞いて下さるお一人お一人に寄り添うことができますよう、お祈りいただければ幸いです。

これから寒さに向かう季節、皆様の健康が守られますよう、そして迎えるクリスマス、新年の上に、祝福が豊かに在りますよう、お祈りいたします。

伝道賛美家 菅原早樹